

退任の挨拶



高山村副村長

野上 富士夫

晩春初夏の候、村民の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私こと、去る4月12日任期満了により高山村副村長を退任し、一般職時代から通算して、44年余りの公務員生活に終止符を打ちました。

この間、多くの村民の方々から公私両面にわたり、ひとかたならぬご厚情と温かいご支援を賜り、まことにありがとございました。

お陰をもちまして、ここに大過なく退任の日を迎えることができましたことを心から感謝申し上げます。

顧みますと高度成長時代

の昭和45年に高山村役場に奉職し、スタートは産業課勤務となり、通算で14年余にわたって林業振興、畜産振興、農業振興及び農業委員会事務局を担当いたしました。

本村においては、昭和48年度より国土調査事業が始まり、建設課に二人体制で国土調査係が設けられ、最初の担当として地籍調査に携わり、通算で4年間建設課に在籍いたしました。

また、出先機関では給食センターに1年8カ月、わらび荘に2年4カ月勤務いたしました。

その後、住民課では3年

8カ月介護保険制度の立ち上げや、保健福祉センターの建設に携わり、また、通算で14年4カ月となった総務課では、議会事務や選挙事務及び庶務を担当するとともに、行財政改革や平成の合併問題に携わりました。

平成22年4月、議会の同意をいただき高山村副村長に選任され、荒木村長の補佐役として4年間努めさせていただきました。

浅学非才のため、皆様の期待に応える働きはできませんでしたが、村民皆様のご指導とご鞭撻をいただきましたことに對し、改めて厚くお礼を申し上げます。

また、高山村の観光施設の指定管理者である、(株)たかやま振興公社の代表取締役として、2年間観光施設の管理運営に携わらせていただきました。

村民皆様をはじめ多くの方々にご愛顧をいただき、お陰様で運営もおおむね順調に推移しております。

なお、本年度からは、ふれあいプラザが高山村道の駅「中山盆地」として、周遊型、体験型の道の駅としてスタートいたしました。

本施設が高山村の活性化の拠点となるよう心より念願するものでございます。

44年余りの高山村役場在職中には様々なことがありましたが、小泉政権時代には三位一体の改革により、本村の主要財源である地方交付税が5年間で約5億円削減されました。

自主財源の乏しい小規模な自治体は、財政的な危機感を抱き、平成の大合併へと雪崩現象を起こしたものと思われれます。

高山村においては、早くから行財政改革に取り組みとともに、住民サービスの向上に努め、現在のサービス内容は他の市町村と比較して優ればこそ決して劣るものではなく、財政の健全度は県下でもトップクラスにあり、結果的に高山村は合併をしな

くて良かったのではないかと思っております。

本村は典型的な農山村であり、少子高齢化社会の到来により、課題も山積しておりますので、行政に携わる者が一致団結し、「明るく、豊かで、活力ある村づくり」に邁進されますよう念願するものでございます。

米国元大統領J・F・ケネディは「国があなたのために何をしてくれるかではなく、あなたが国のために何をできるかを考えよう」という有名な就任演説を行っていました。

私もこれからは一村民として、地域のためにできることを考え、取り組んで参る所存でございます。

村民皆様には、今後も変わらぬご交誼を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、高山村のさらなる発展と、村民皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。退任のあいさつといたします。